

## 令和6年度事業報告

事業担当部署: 栄養CS在宅医療・介護運営委員会 報告者: 豊田典子

事業区分	公益 3			
事業名称	地区5ブロック研修「地域密着型拠点づくりのためのスキルアップ研修」東三河ブロック			
事業概要	目的	登録者を中心に「顔の見える関係づくり」を県内5ブロックにて進め、即戦力となる人材育成を図り、地域密着型の拠点づくりを構築する		
	内容	日時	令和6年11月23日(土)13:30~16:00	
		場所	小坂井生涯学習センター	
		対象及び参加予定数	栄養ケア・ステーション登録者30名	
		内容のプログラム等	テーマ: 地域で活躍~地域ケア会議からの訪問栄養食事指導 ①地域包括ケアに関わる多職種からの最新情報(各地区のリハ専門職) ②事例報告 ③ロールプレイ ④グループワーク	
	結果と成果	参加者	21名(運営スタッフ含む)	
結果概要等		11/23、今年度最後の地区「東三河ブロック」で研修会を開催し東三河、名古屋、東尾張からの参加があった。リハ職からの最新情報では理学療法士河合靖男氏より地域支援事業の説明や地域ケア会議参加に向けわかりやすい説明の後、今後の課題も提示された。事例発表では実際の会議の準備から当日の助言について学習し、木原八千代氏より地域ケア会議の心得について詳しく説明があった。後半のロールプレイとグループワークでは地域ケア会議に参加できる栄養士の実践トレーニングができた。		
		収入金額	支出金額	残額
当初予算	令和6年度予算	200,000	201,300	-1,300
当年度実績	名古屋地区研修等 実績	0	41,230	-41,230
	西尾張地区研修等 実績	0	41,620	-41,620
	東尾張地区研修等 実績	0	44,290	-44,290
	西三河地区研修等 実績	0	23,734	-23,734
	東三河地区研修等 実績	0	34,440	-34,440
	計	0	185,314	-185,314
予算	収入	科目	金額	積算基礎
		参加費	0	
		助成金	200,000	愛知県介護予防に関する市町村支援事業からの助成(愛知県理学療法士会)※
	計		200,000	
	支出	講師料	50,000	10,000円×講師(多職種)5名
			90,000	5,000円×講師(管理栄養士)18名
		交通費	10,000	2,000円×講師5名
		事業運営費	36,300	会場代
		資料代	15,000	3,000円×紙類等5地区
	計		201,300	
決算	収入			
	計		0	
	支出	講師料	15,000	講師2名(支払額13,469円+源泉徴収額1,531円)
		交通費	540	講師1名分
		〃	18,300	運営スタッフ8名分
		事業運営費	600	会場費、備品代
	計		34,440	

※助成金300,000円(ブロック別:200,000円+合同:100,000円)

## 令和 6 年 12 月 理事会報告

### 広報-HP,生涯教育,食育推進,在宅医療-介護,栄養・JDA-DAT 委員会

日 時	11 月 21 日 ( 木 ) 時間 19:00~20:45	場 所	オンライン (Zoom)
出席者	ブロック長：石川、木原、中川、宮部、豊田（議事録）、 副ブロック長：藍川、太田、川瀬、小牧、澤木・栄養CSセンター長：奥村・事務局：天野		
協議事項 及び 決定事項	1. 名古屋ブロック研修会報告… 18名参加 2. 今後の研修会について… ①11/23 東三河ブロック研修 ②12/14 合同研修 3. 栄養CS業務依頼状況 ・業務依頼が増えているが人選は研修会に参加した人を優先とする。 ・ブロック長、副ブロック長が相談窓口になれるとよい。 4. 栄養CS課題 ① 食事提供体制加算について ワーキングメンバー・・・奥村 木原 石川 太田 蔦木 眞野 豊田 メンバーが中心になり県栄養士会栄養CSの実働体制を整えていく。 12/5 オンラインで保健所担当者への説明会に参加。 ② 災害支援について… ワーキングメンバーにて話し合いを行う。 ③ 人材育成の方法（同行研修） 各認定栄養CSで来年度の実施に向けてプログラムを作成する。 県栄養CSは、各認定栄養CSのプログラムを紹介し、 希望者が各認定栄養CSに問い合わせ受講する。 5. 来年度の研修について…12月3日ブロック長会議で協議 研修予算については今年度より10%マイナスで考える。 6. 会議報告 ・R6年度介護予防指導者指導者育成事業全大会 12/1（日）開催予定。 7. その他 「ブロック長役割、窓口について」 ・名古屋地区は県栄養CSへの問い合わせや業務依頼が多く、事務局の負担がある。 ブロック長一人体制では難しいのではないかと。 ・東尾張地区は地域が広範囲にわたり、ブロック長の負担が大きいのではないかと。 ・今後どうするのか、来年度の体制も含め委員会で話し合っていく。 次回在宅医療・介護運営委員会ブロック長会議 12月3日（火）19時～20時		
理事会での 検討事項	なし		
今後の 検討事項	・R7年度の事業計画の作成 ・食事提供体制加算について ・災害支援について ・人材育成の方法について		
委員会の 課題	・R7年度研修会内容について協議し決定する ・R7年度の5地区のリーダー体制をどうするか		

令和 6 年 12 月 理事会報告

広報-HP,生涯教育,食育推進,在宅医療-介護,対<sup>外</sup>栄養・JDA-DAT 委員会

日時	12月3日(火) 時間 19:00~21:15	場所	オンライン (Zoom)
出席者	豊田、木原、中川、宮部、石川、奥村(栄養CSセンター長)、天野(事務局)		
協議事項 及び 決定事項	<p>議題</p> <p>1. 研修会報告</p> <p>1) 東三河ブロック研修会報告 21名参加</p> <p>2) 合同研修会 タイムスケジュールおよび集合時間の確認、役割分担について</p> <p>3) 来年度研修会予定</p> <p>① 全体研修 (総論)</p> <p>研修① 口腔機能に関係した講義を歯科衛生士会と相談する</p> <p>研修② リハ職とのコラボに関しては今後検討</p> <p>② オンライン研修 (各論)</p> <p>・慢性腎臓病・精神疾患・認知症</p> <p>★来年度予算については栄養士会単独の研修会として予算案を作成する。(12/15まで)</p> <p>2. 栄養ケアステーション事業</p> <p>1) 食事提供体制加算について</p> <p>12/5オンラインにて説明会。ワーキングメンバー中心に準備をすすめる。</p> <p>2) 災害支援について ワーキングメンバーを中心に準備を進める。</p> <p>3) 人材育成について (同行研修) R7年スタート予定 (奥村・石川・木原で準備)</p> <p>3. 来年度の5ブロック体制について</p> <p>来年度は実践研修を行っていく。栄養CS登録者の把握も重要。</p> <p>来年度は体制の見直しも視野に入れブロックリーダーの役割を考えていく。</p> <p>ブロックリーダーの人数も再検討が必要。</p> <p>4. 会議報告</p> <p>・愛知県アドバイザー養成事業定例報告</p> <p>・アドバイザー養成地区検討会について</p> <p>2/2 (日) 尾張・知多・西三河 2/23 (日) 名古屋・東三河</p> <p>次回在宅医療・介護運営委員会ブロック長会議 R7.1.14 (火) 19時より開催</p>		
理事会での 検討事項	なし		
今後の 検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度研修会について具体的な内容を決める</li> <li>①同行研修 ②全体研修 ③オンライン研修</li> <li>食事提供体制加算について</li> <li>災害支援について</li> </ul>		
委員会の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度のブロック体制について検討する</li> <li>ブロックリーダーの人数や役割について</li> <li>栄養CS登録者の把握</li> </ul>		